

自性院 藤沢市石川 3562

浄土宗の寺院で山号は石川山。慶長16年（1611年）地頭であった中根臨太郎（その一族の中根貞次は秀忠に仕え大坂夏の陣で活躍した人）により常光寺の末寺として開かれ、龍見が開山して以来400年程の歴史がある。文政4年（1821年）相模国準四国八十八ヶ所の37番目の札所として弘法大師像が設置される。本尊は阿弥陀三尊で、中尊阿弥陀如来は定印の坐像。中尊像は像高42.0cm、脇侍の観音菩薩像は26.5cm、勢至菩薩像は27.0cm、寄木造、江戸時代作とあるが、中は見る事ができなかった（境内説明版）。



案内版



境内正面の山門



先達が大師像の前で読経を



無縁塔



本堂



額と彫刻



大師像